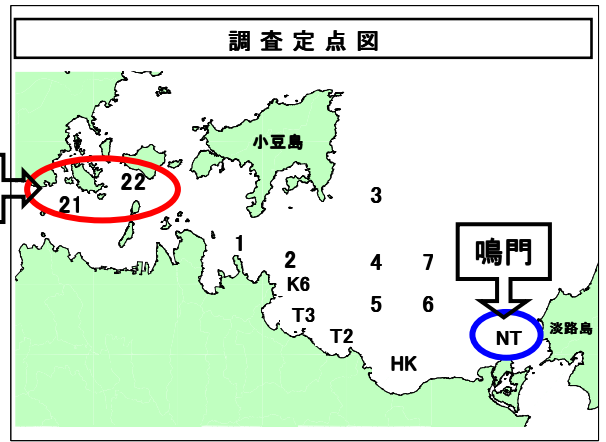


カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2009. 10- 1)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



調査方法

調査日: 10月5日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点

(調査定点図参照)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.10.3	1	0	20	0	2	1	0	1	15	2	0				3.8	-
2007.10.2	0	0	0	0	1	0	0	1	3	0	0				0.5	-
2008.10.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
2009.10.5	0	0	0	1	0	11	0	4	2	1	0	0	0	0	1.7	1.4

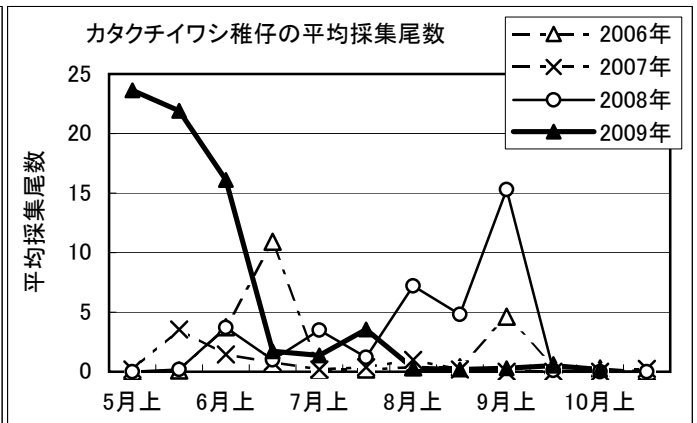
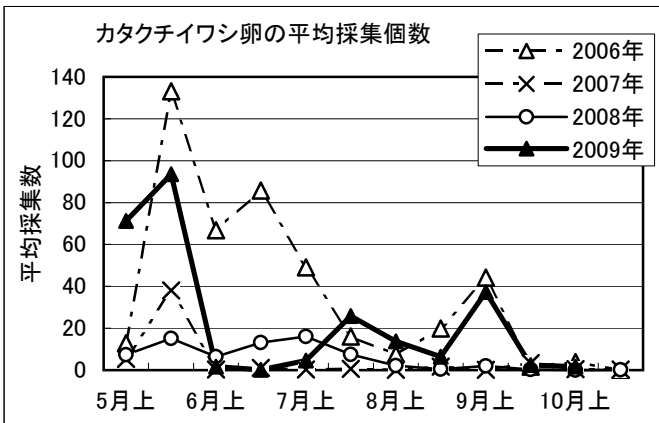
【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.10.3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0				0.3	-
2007.10.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0.0	-
2008.10.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
2009.10.5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0.2	0.1

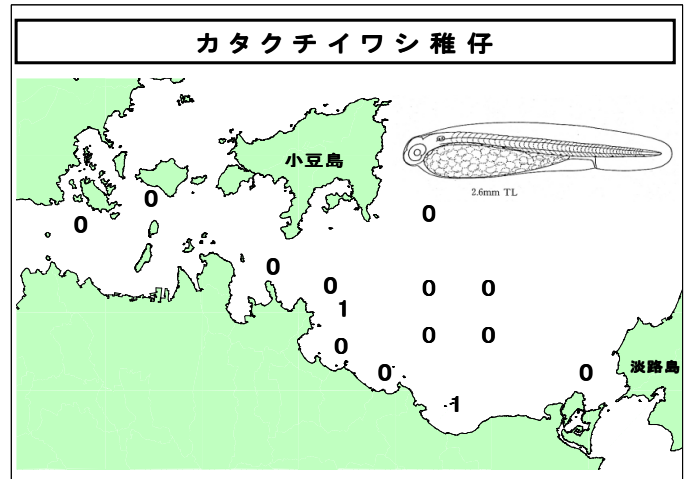
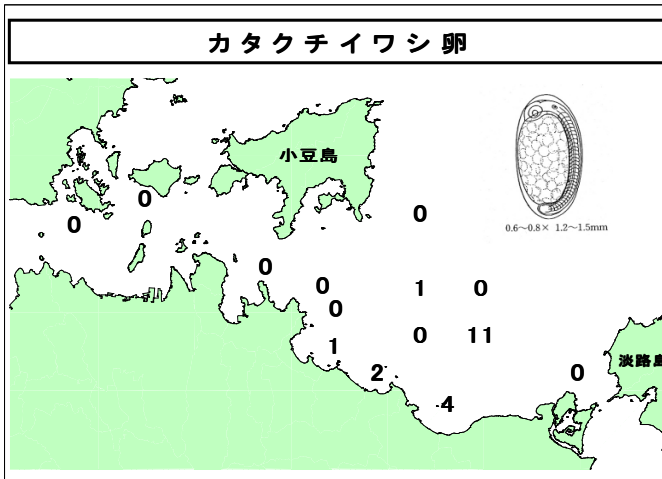
* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



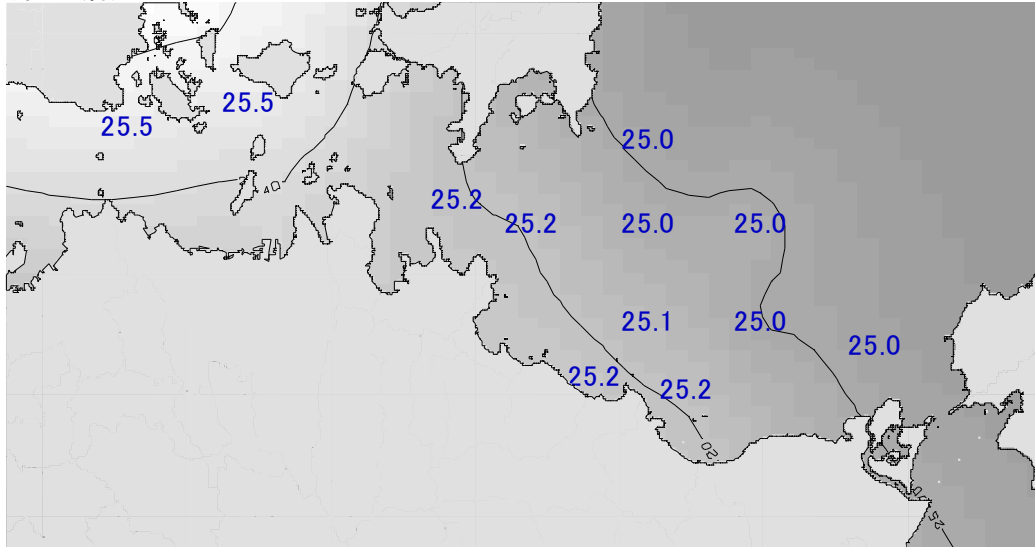
播磨灘11定点における卵の平均出現数は1.7個となり、昨年同時期を上回った。卵はやや沖合いと沿岸部での出現数が多かった。

一方、稚仔の出現は平均で0.2尾となり、昨年同時期を上回った。稚仔の出現は引田沖と津田沖でわずかに認められたのみとなり、播磨灘での稚仔の出現が少ない傾向を示した。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、7月以降の水温は平年並みからやや低めで推移している。

【参考】
平成21年10月5日の海況

水温（水深10m層）



塩分（水深10m層）

